

# 各部会報告資料

- ・子ども部会(P2-4)
- ・就労部会(P5-6)
- ・相談支援部会(P7-9)
- ・精神障がい者地域移行支援部会(P10-12)

## こども部会活動報告（令和7年度第1回）

### 1 部会の目的

障がい児の支援について、関係機関等が情報交換を行いながらネットワークの構築を図るとともに、「障がい児とその保護者を支援する」という共通理解のもと、課題の整理や解決策の検討、社会資源の共有を図る。

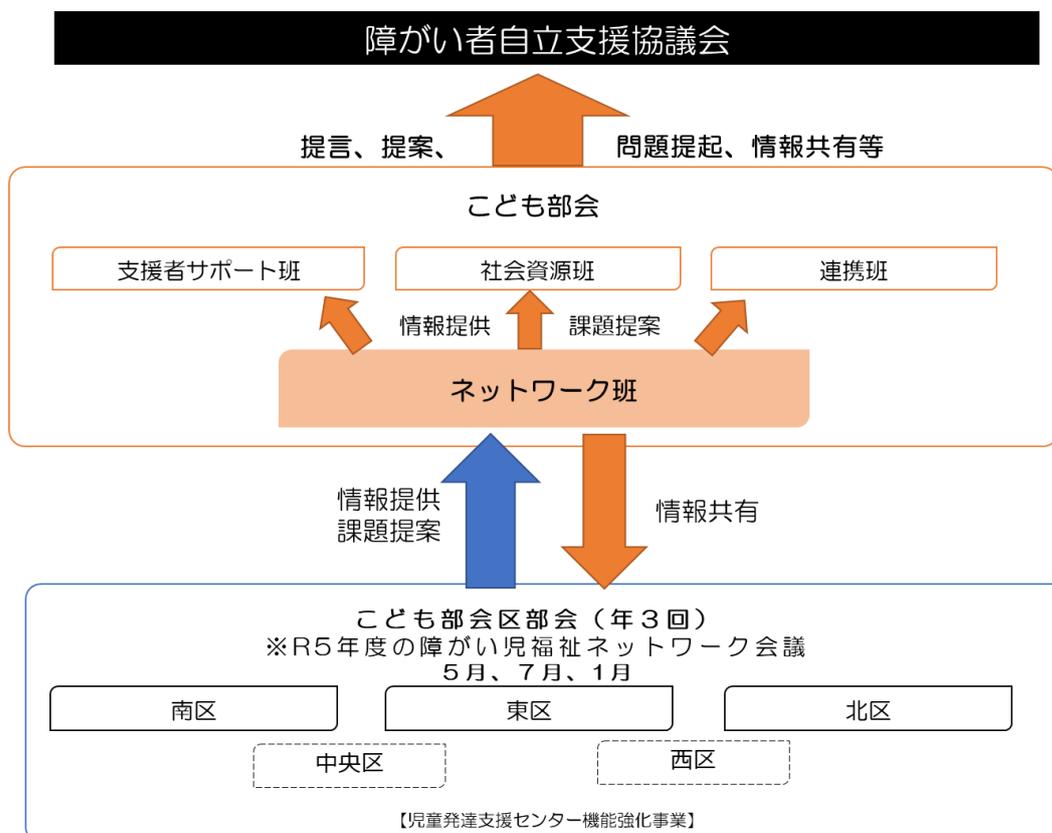
### 2 令和7年度の運営体制

令和6年度から、児童発達支援センター機能強化事業における取組のひとつであるこども部会区部会（旧：障がい児福祉ネットワーク会議）にて上がった地域課題に応じた班体制にて運営をおこなっており、令和7年度においても引き続き以下の4つの班で活動をおこなう。

また、2か月に1回程度部会開催前に運営委員会を開催し、当月の進め方や各班の進捗管理等について情報共有や意見交換を行う。

※運営委員会（第3月曜日）、部会（第4火曜日）

<こども部会と区部会のイメージ図>



### 3 令和6年度の取組実績

#### 各班の取組実績

#### ① ネットワーク班(こどもプラグの運用と見直し、障害児に関する地域会議等の整理)

テーマ：相談の場、福祉サービスにつながるまでの空白の時間の課題整理と対応

令和6年度取組実績

- ・放課後等デイサービス事業所と児童発達支援センターの情報を掲載した「こどもプラグ」の制作に取り組んだ。こどもプラグのフレーム（掲載内容）に関して、こども部会や熊放会（放課後等デイサービスの任意団体）の意見を聞き、整理することができた。
- ・今後は、こどもプラグについて令和7年12月の完成を目指し、情報の集約と整理をおこなう。また、作業の進捗次第でプラグ制作以外の活動を検討する。

#### ② 支援者サポート班（支援者の困り感を拾い上げ、障がい児福祉サービスに係る課題

を検討）

テーマ：関係機関同士の相互理解を深める

令和6年度取組実績

- ・発達支援コーディネーターの役割、考えられる地域課題などについて意見交換をおこなった。
- ・放課後児童育成クラブへのアンケートへ協力依頼、放課後児童育成課より回答を得て、現状の把握をおこなった。
- ・次年度は福祉サービスの終了をテーマに地域課題の抽出やこどもと家族のニーズ等意見交換をおこなう。

#### ③ 社会資源班（障がい児が活用できる社会資源について調査、活用する方法を検討）

テーマ：保護者の方や支援者の方が手に取りやすい情報やシステム作り

令和6年度取組実績

- ・熊本市HP改定に伴い、こども部会のページで「成果物」の欄を設けて情報の集約、掲載を進めている。リーフレットを集約した用紙についてはこども支援課と協議し、熊本市子育て応援アプリ（くまっとアプリ）内に掲載する方向性を話し合った。
- ・よかよかマップ（お子さんの余暇の場の集約）を一度HPへ掲載し、リーフレット同様アプリ内へ掲載をする方向で検討した。
- ・今後はリーフレット、よかよかマップの周知や発信を計画的に進めていく。

#### ④ 連携班（普段こどもが“居る”場所同士の連携、保育園や学校等と連携の仕組み作り）

テーマ：アンケートを通して見えてくる 3 年間の経過と在学中、卒業後の生活支援と課題

成長過程における支援と関係機関の連携や情報提供を行う。

令和 6 年度取組実績

- ・「高等学校における障がいのある生徒への支援に関する調査」の内容の精査および比較や推移等を確認し、課題抽出をおこなった。
- ・今後はアンケート結果を各学校に公表し、各事業所とも連携を図り、課題解決につなげたい。教育と福祉の連携のためにも相談先である障がい者相談支援センターの周知を工夫して行いたい。

※アンケート結果および課題と提案については別紙参照

## 4 令和 7 年度取組予定

共通テーマ：地域で育てる、支える、見守る

### （1）ネットワーク班

活動予定：①こどもプラグのシステム作成

②事業所からの情報収集

③プラグへの入力、調整

### （2）支援者サポート班

活動予定：①第 1 回区部会「地域への移行を考える」での意見交換をもとに課題抽出・ニーズ整理

②ニーズに対応する関係機関の意見聞き取り、対応案の提示

③対応案への取り組み

### （3）社会資源班

活動予定：①成果物（リーフレット・よかよかマップ）の周知・広報

②お子さんや保護者の方が必要な情報の収集・集約

### （4）連携班

活動予定：①高等学校のアンケート集計と整理

②子どもたちの成長（発達段階）に応じた情報提供について

## 就労部会活動報告（令和7年度第1回）

### 1 部会の目的

『障がい者の「地域で働きたい」を実現させる』を目的として、熊本市における就労支援の課題とニーズを知り、その解決策を考え、よりよい就労支援を目指す。

### 2 令和6年度の実績

#### (1) 運営体制

4つの班構成（企業就労班、福祉就労班、当事者対話班、くまもとDX班）で各班作業に取り組んだ。

#### (2) 取組内容

##### ①企業就労班

###### <企業就労グループ>

- ・『しごといく vol.11』の作成
- ・企業への雇用受入れの周知・啓発
- ・企業就労やサポート企業・団体の啓発

###### <定着支援グループ>

- ・障がい者雇用を行う企業との連携
- ・職場生活相談員へのアンケート

##### ②福祉就労班

###### <事業所支援グループ>

- ・利用者支援についての質の向上
- ・事業所間のネットワークの構築
- ・事業所における支援や環境等に関する困り事の共有・整理

###### <工賃向上グループ（きてよかった班）>

- ・事業所における事業収入を増やしていくための検討

##### ③当事者対話班

- ・『ふらっと新聞 vol.2』の作成
- ・当事者の視点から就労に関する悩みや提案を発信

##### ④くまもとDX班

- ・在宅就労やデータ作業等が推進されている社会状況を踏まえ、障がい者雇用の可能性を広げていくための新しい働き方の検討

#### 〔令和6年度班活動の成果物〕

- ・しごといく vol.11（企業就労班）
- ・ふらっと新聞 vol.2（当事者対話班）

### 3 令和7年度の取組予定

#### (1) 運営体制

就労選択支援事業の開始に伴い班構成の見直しを実施。一般就労の視点・当事者の視点・就労の場を広げた（福祉的就労を含）視点を踏まえ、課題に取り組む。

毎月の部会開催後に運営委員会を開催し、翌月の進め方や各班の進捗管理等について情報共有や意見交換を行う。

#### (2) 取組内容

##### ①企業就労班

###### <企業就労グループ>

- ・「しごといく」総集編の作成 ・企業への雇用受入れの周知・啓発
- ・サポート企業の啓発

###### <定着支援グループ>

- ・障がい者雇用を行う企業との連携
- ・企業への参加を促すため、就労部会の名刺を作成
- ・企業見学会の実施（部会向けと企業向けの2回）・就労部会への参加啓発

##### ②ユニバーサル就労班

###### <DXグループ>

- ・事業所に対してのDX化の普及・促進
- ・在宅就労やその他の新しい働き方の調査・共有

###### <福祉事業所支援グループ>

- ・利用者支援についての質の向上 ・事業所間のネットワークの構築
- ・事業所における支援や環境等に関する困り事の共有・整理
- ・事業収入を増やしていくための検討(事業所のDX化の導入や推進も含めて)

###### <就労選択支援事業グループ>

- ・就労系障がい福祉サービス事業所のデジタルデータ化と統合基盤の構築
- ・模擬ケースを使った多機関連携会議テスト

##### ③当事者対話班

- ・当事者の視点から、はたらく「いりぐち(きっかけ)」について考え、発信

### 4 その他

例年実施している「就労フェア」を令和8年2月に開催予定。※内容は検討中

## 相談支援部会活動報告（令和7年度第1回）

### 1 部会の目的

相談支援事業を行う事業者等が情報交換を行い、課題の整理や解決策の検討、社会資源の共有・開発、相談支援事業者のスキルアップに向けた取組等を行うもの。

### 2 令和6年度の取組実績

#### （1）班体制

運営委員会のメンバーを3つの班（フォローアップ班、地域課題班、ワーキンググループ班）に分け、各班で整理した課題をもとに検討した企画を全体会において実施。

毎月第4月曜日に運営委員会を開催し、次回部会の進め方や今後のスケジュール等について情報共有や意見交換を行う。

#### （2）取組内容

月毎に企画の担当班を割り当てて、部会を進行。

##### ① フォローアップ班

- ・ 計画相談支援事業所の連携、相互支援
- ・ ケアマネジメントプロセスの標準化を図り、計画相談支援の促進

（取組実績）

- ・ ロールプレイを通しケアマネジメントプロセスを確認及び意見交換
- ・ ファシリテーション技法について共有、体験

##### ② 地域課題班

- ・ 個別のニーズや課題を踏まえて個別の支援や課題解決の検討
- ・ 個別のニーズや課題から地域課題の抽出
- ・ 事例検討会の企画

（取組実績）

- ・ 2つのグループに分かれて、それぞれのテーマについて地域課題セッションを実施。出された意見を基に取り組みについて協議を行った。

- A班
1. フードバンクやパントリー、食に関する救済場所などの拠点となる場所が身近に少ない
  2. 医療的ケア児者、強度行動障害児者の受け入れ可能な事業所、保育園が少ない
- ※強度行動障害児者の受け入れについて、本協議会で後ほど意見交換させていただきます

- B班
1. ひきこもりの方への支援体制が少ない
  2. 地域に障がい児者の得意なことを活かせる場所がない

- ・ 8つのケースの事例検討を実施。今後事例検討の中から出された地域課題についても整理していく予定。

### ③ ワーキンググループ班

- ・相談支援ハンドブックの見直し
- ・報酬改定に伴う内容の確認、整理、共有

(取組実績)

#### ○ハンドブックの見直し

- ・社会資源（福祉サービス以外）の掘り出し
- ・計画相談の流れの整理
- ・令和6年度改定版のハンドブックの作成

#### ○報酬改定

- ・令和6年度報酬改定に伴う計画相談の加算の取り方の内容確認と整理
- ・令和6年度報酬改定以外の部分についての不明確な部分の洗い出しと確認
- ・報酬改定を中心に確認した項目について冊子を作成

## 3 令和7年度取組予定

### (1) 運営体制

部会参加者を3つの班（ワーキンググループ班、地域課題班、フォローアップ班）に分け、各班で整理した課題をもとに各班作業に取り組む。

毎月第3木曜日に運営委員会を開催し、次回部会の進め方や今後のスケジュール等について情報共有や意見交換を行う。

### (2) 取組予定

#### ① フォローアップ班

経験が1年～3年の相談支援専門員を対象に相談支援業務の基礎がためを行っていく。今年度から経験が3年以上の相談支援専門員も参加可能とし、基礎の振り返りやファシリテーション能力の向上に努めることを可とする。

#### ② 地域課題班

令和6年度に実施した事例検討等を始め、様々な機会に把握できた地域課題について協議を行い、意見をまとめていく。

→地域課題に焦点を絞って整理し、課題解決に向けた道筋を立てていく。3グループに分かれ実施。強度行動障害、医療的ケア児・者については継続協議としていく。

#### ③ ワーキンググループ班

適切な相談支援の実施が出来るように、相談支援業務の体制整備を行う。

→相談支援業務の見直しや確認を行なう。

→計画相談様式の見直しに向けた取り組み。

(3) スケジュール (案)

	テーマ	部会	運営
4月	-	-	4/17
5月	班活動	5/15	5/22
6月	班活動	6/12	6/19
7月	研修会 (虐待防止) 班活動	7/10	7/17
8月	班活動	8/14	8/21
9月	研修会 (就労選択支援) 班活動	9/11	9/18
10月	全体活動 (事例検討)	10/9	10/16

※運営委員会 (部会の前の月の第3木曜日) 部会 (第2木曜日)

## 精神障がい者地域移行支援部会活動報告（令和7年度第1回）

### 1 部会の目的

「入院医療中心から地域生活中心へ」の基本理念に基づき、精神障がい者の地域移行に必要な地域体制の整備を図るとともに、地域の関係者が連携して退院に向けた支援を行うことにより、精神障がい者が地域で安心して生活することができるよう地域移行及び自立を推進することを目的とする。

### 2 令和6年度の実績

#### ① 運営体制

精神障がい者地域移行支援部会を「全体部会」とし年4回開催し、区毎の連絡会を「区部会」と位置づけ、地域（区）の課題抽出、具体的な計画・取り組み、顔の見える連携づくりを目的に年3～4回開催を計画。

その他、コアメンバーによる会議を毎月開催。運営事務局としての役割を目的として事業の年間計画や方針等を決定し全体部会や区部会への働きかけや周知を行っている。

#### ② 取組内容

##### 1、全体部会

- |        |   |
|--------|---|
| 6月11日  | 第1回全体部会開催（出席69名、ZOOM開催）<br>内容・事業説明、年間計画<br>・地域移行支援基礎研修<br>・各区部会の報告<br>・グループでの意見交換             |
| 9月17日  | 第2回全体部会開催（出席57名、ZOOM開催）<br>内容・各区部会の報告<br>・医療機関訪問についての説明<br>・地域移行支援マニュアル説明<br>・グループでの意見交換、感想共有 |
| 12月10日 | 第3回全体部会開催（出席66名、会場：ウエルパルクまもと）<br>内容・各区部会の報告<br>・居住支援協議会の活動について説明<br>・グループでの意見交換               |
| 2月27日  | 第4回全体部会開催（出席52名、zoom開催）<br>内容・各区部会の報告<br>・地域診断の結果について<br>・グループでの意見交換、感想共有                     |

## 2、区部会

各区3回～4回実施。地域移行支援個別給付の経過報告に加え、各区の課題をもとにした取り組みについて話し合いを行っている。

## 3、コアメンバー会議

- 4月（出席19名）区部会報告、全体部会年間計画
- 5月（出席10名）6月全体部会検討
- 6月（出席17名）6月全体部会振り返り
- 7月（出席4名）医療機関訪問について、ピアサポーターの座談会について  
9月全体部会検討
- 8月（出席9名）医療機関訪問について、ピアサポーターの座談会について  
地域移行支援マニュアルについて、9月全体会検討
- 9月（出席16名）9月全体会振り返り、地域移行支援マニュアルについて
- 10月（出席9名）医療機関訪問について、ピアサポーターの座談会について  
地域移行支援マニュアルについて、12月全体部会検討
- 11月（出席8名）12月全体会検討、ピアサポーターの座談会について
- 12月（出席11名）12月全体会振り返り
- 1月（出席6名）2月全体部会検討、地域移行支援マニュアルについて  
医療機関訪問について
- 2月（出席6名）2月全体部会振り返り
- 3月（出席9名）医療機関訪問についての報告  
令和6年度の振り返り、令和7年度目標・年間計画について  
令和7年度の各区旗振り役について

## 4、地域移行支援マニュアルについて

令和6年11月24日地域移行支援マニュアル完成。熊本市ホームページに掲載。

## 5、普及啓発活動について

市内精神科医療機関を訪問し地域移行支援個別給付、ピアサポート活用事業についての説明を実施。（令和6年度2か所）

## 3 令和7年度の取組予定

### ① 運営体制

前年度と同様

## ② 取組予定

- ・普及啓発活動として医療機関への訪問を行う
- ・地域診断から検討したロードマップの実行
- ・ピアサポーターの活用場の模索、ノウハウの向上
- ・地域移行支援マニュアルの活用について相談支援事業所等へアンケートを実施
- ・地域移行支援部会の中で「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」に関する内容を取り扱いネットワーク作りの方法や各機関の役割について協議を行う。

### 1、全体部会

6月、9月、12月、2月の年4回の開催を予定。

※6月の全体部会は6月10日（火）zoom開催

内容 事業説明

各区の目標・計画発表

地域移行支援基礎研修

グループでの意見交換

### 2、区部会

各区2～5回の開催を予定。

### 3、コアメンバー会議

月1回の開催を予定。4月、5月、6月の会議は開催済み。

- ・全体方針や計画を検討し、区部会と連携しながら事業の促進と浸透を図る。
- ・全体部会の企画調整、運営を行う。